

(宣言日) 2023年 7月 29日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を進める富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	カインズ富士宮店
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 企業（業種：小売業） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input type="checkbox"/> その他団体（ ）
代表者職/氏名	店長 大石 一暢
所 在 地	富士宮市万野原新田 4136-7
U R L	https://map.cainz.com/detail/795/
電 話 番 号	0544-28-1000
メ-ルアド-レス	cz0795.0@cainz.co.jp
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。





団体・事業所として 2030 年（中長期的な）のあるべき姿

昨今、都心への一極集中・少子高齢化・人口減、自然災害の増加などにより、日本各地で様々な地域課題が顕在化してきており、地域社会・経済の持続可能性が危ぶまれています。カインズは、創業以来、「商業を通して社会の発展に貢献する」ことを志に、28 都道府県下に展開する 228 の店舗が、それぞれの地域の皆様のくらしに寄り添いながら事業活動を行っています。私たちはそうした創業以来の志をさらに発展させ、それぞれの地域における困りごとや関心、ニーズに丁寧に耳を傾け、「人々が自立し、共に楽しみ、助け合える、一人ひとりが主役になれる「まち」（≒地域社会）を実現することを目指す、“くみまち構想”を策定しました。それぞれの地域に根ざしたカインズの店舗やそこで働くメンバー（従業員）が、地域の様々なステークホルダーと協働/共創しあえるハブとなり、「まち」やくらしを組み上げていきます。

団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）

最大の社会的課題となっている環境保護について全社を挙げて取り組んでいます。“くみまち構想”の具体策第 1 弾として、2050 年までのカーボンゼロ（CO2 排出量実質ゼロ）実現にむけた目標を策定。2025 年までに自社店舗・オフィス・倉庫など建屋のカーボンゼロを目標としています。

SDGsの各目標に向けた取組内容・目標

注力するゴール	2023年12月までの取組内容・目標
	店舗運営において省エネ、節電、節水を行う（使用量前年比 98%） 販売においても省エネ、節電、節水商品の拡販を行い、地域の省力化に貢献
	店舗メンバーが安全に、働きやすい環境を創出し、地域社会に貢献。 自社の発展と市の経済成長にも貢献。
 	富士宮市の行政、各事業者、各自治体との連携でカインズが目指す 「くみまち」の実現。富士宮市を積極的にアピール。

(記入上の注意)

- 1 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 2 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 3 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいても構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)